

事業所名

めいぷる

児童発達・放課後等デイサービス 支援プログラム

作成日

8年

2月

28日

法人（事業所）理念		子どもたちの最善の利益を大切に、一人ひとりの個性を尊重します。利用児一人ひとりが本来持っている「その人らしさ」を発揮し、自己表現につながる支援を目指します。						
支援方針		子どもの発達全般や障害の特性・行動の特性等を理解し、子どものウェルビーイングの向上につながるよう、必要な発達支援を提供します。 子どもの特性に合わない環境や不適切な働きかけにより二次障害が生じる場合があることを理解した上で支援を提供するとともに、子ども自身が内面的に持つ力を発揮できるよう、エンパワメントを前提とした支援を提供します。 一人ひとりの子どもの発達に対応した個別指導のポータージョプログラムを用いてスキル獲得の支援を行います。						
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの獲得（持ち物整理、排泄、手洗い、食事、歯磨き、衣服の着脱等）を通じて日常生活が円滑におこなえるように支援します。また、利用児の日々の健康管理（健康チェック）をおこない、心身の状態の把握に努めます。						
	運動・感覚	発達障害には、感覚統合が円滑に機能しないことが影響している場合が多く見受けられます。「楽しく」「能動的に取り組み」「成功体験ができる」遊びを通して触覚、固有受容覚、前庭覚、視覚、聴覚それぞれに対して、子どもの特性に合わせた働きかけを行います。 感覚統合については「福島をリハビリで元気にする会」理事長、感覚統合療法認定セラピスト 岡本宏二氏にご指導をお願いしております。						
	認知・行動	TEACCHプログラムのスケジュールの視覚化、環境の構造化によって、見通しが持て情緒的に安定した状態で活動することができるように支援します。 個々の認知の発達に応じた自立課題を通して情報を読み取る力を育み、達成感を得ることで自己肯定感を高めることができるように支援します。						
	言語コミュニケーション	言語によるコミュニケーションに加え、PECS(絵カード交換コミュニケーション・システム)でのコミュニケーションも活用します。コミュニケーションの障害が行動障害の原因であり、自発的に発信したことが相手に伝わり結果を得ることの喜びを経験することができるように支援します。						
	人間関係社会性	安定したアタッチメント(愛着)形成のために、感覚過敏への配慮を行いながら、ふれあい遊びや手遊び歌、集団遊びや自由遊びを通して、人の動きを模倣することを促していきます。 小集団での活動を通し、ルールの理解や適切な振る舞いを学べるよう支援します。公園遊びや買い物等外出活動等を設定し、公共の場での適切な過ごし方ができるように支援します。						
家族支援		個別指導のポータージョプログラムを用いて、家庭で親が中心になって子どもの発達支援が進められるように支援していきます。 連絡帳や日々の家族との引き継ぎの際に様々な相談に応じるようにしています。また、支援計画を説明する際に個別面談を行います。			移行支援		併用利用の幼稚園や学校との意見交換や情報の提供。就学の際の情報の提供を行います。	
地域支援・地域連携		こども園、保育園、幼稚園や学校等、併用事業所との情報連携や調整、支援方法についての情報共有、相談援助を行います。			職員の質の向上		ポータージョプログラムの研修への職員の派遣や虐待防止・身体拘束などの内部研修 「福島をリハビリで元気にする会」理事長、感覚統合療法認定セラピスト 岡本宏二氏によるレクチャー	
主な行事等		芋煮会、ピクニック、苺狩り、芋(大根)掘り、クリスマス会、団子さし、修了式						